



ばらの花束

ホアン ティ フーン
HOANG THI HUONG

幼い頃から、両親は「いつも皆さんと仲良くして団結のきずなを強めるのを忘れないこと」と教わっていただきました。その時学校で皆と一緒に話したり、学校の掃除をしたり、喧嘩をしないようにすれば良いと簡単な事と思っていました。

それから小中・高等学校が終わって社会人になりました。日本の実習生として日本に来るために日本語センターで日本語の勉強をした際、忘れられないでき事がありました。ベトナムでは毎年11月20日は先生の日という学校の行事があります。その日に生徒たちは先生方に感謝する日です。その日に担任の先生は私のグループに芸能上演プログラムを考えてお祭りに演出すると指示を出されました。皆は喜んで色々の芸の意見を出し合って相談した上に日本の伝統的な傘の踊りを決めました。その踊りはちょうど私のグループの人数でした。但し、男性は一人が必要なので、グループは女性だけでした。誰かが演技のために一人は男性に扮装しなければなりません。私たちは女性なので、その日に女性らしい姿を出たいし、男性の変身のお化粧も簡単ではないので、中々決まらなかったです。やっと男性の変身する人を決めました。これから踊りの練習を始めます。ですが、学校の日本語も勉強しないとイケません。学校が終わったら宿題も沢山あります。同時に踊りの練習を

しないと演出もできません。踊りの練習を教える先生もいません。自分たちはビデオを見ながら練習します。中々上手く踊る事ができませんでした。体も精神的も疲れました。グループの中に一人が止めました。次の日、又もう一人が止めました。お祭りの日が近づいていたのに踊れないし、人数が足りないし、バラバラになりました。担任の先生に事情を話しました。その時先生は何も言いませんでした。翌日、先生は皆を呼んでいました。ばらの花束を見せて「どうですか」と聞かれました。昔は同声で「とてもきれいです」と言いました。それから先生は皆、一本ずつを取って下さいと言われました。残ったのはたった一本のばらになりました。先生は「ばら束はまだきれいですか。」と聞かれました。皆は頭が振って「いいえ、きれいではありません」と答えました。そうですね。貴方たちも一緒に仲間になって輪になってばら束のようにきれいです。今回はその踊りに任せたのは貴方たちの団結さがあるかどうかの試しです。「そんな小さな事でこんな結果なったのはこれから異国で実習と仕事に対して何倍も大変なことが沢山あります。皆は一つ輪にになってお互いに励まして助け合っていないとやっていけませんよ」と言って下さいました。その後私のグループは目が覚めてしっかり話し合っ練習しました。その踊りで最優秀賞をもらいました。

そのお蔭で今、私のグループは同じ会社と一緒に日本語や日本の文化を勉強しながら働いて姉妹のように仲良くして実習しています。

国籍	ベトナム
職種	加熱性水産加工食品製造
実習実施機関	福利物産株式会社
監理団体	アドバンス協同組合